よしかわ里己の一般質問　気合いよしっ！かわらぬ情熱！

1. 災害を未然に防ぐ対策こそ必要ではないか【西宮裾土砂災害】

この夏の大雨により、8月6日には北方町医王寺の県道武雄福富線で法面が崩落した。8月20日には北方町西宮裾で公道の法面が崩落した。西宮裾の現場では、数年前にも右手のあたりが斜面崩壊した。防災の視点に立った事前の手立てが必要ではないか！

〔樋渡市長〕

そのとおりだと思います。危険個所については早めに手当てをする、予算を重点的に投下することが一つ。もう一つ大事なのが、危険だと思う前にぜひ避難をしていただきたいということです。

2. 防災無線の改善を急げ

防災無線は5年ほど前から整備され運用されているが、聞こえにくいとの声がある。土砂災害や浸水被害が発生するような危険箇所については、増設、見直しを進める必要があるのではないか！また、ケーブルテレビで防災無線と連系したテロップを流すべきではないか！

〔松尾政策部長〕

防災無線の屋外拡声器については配置の見直しが必要と考えています。防災無線は100％ではないので、ケーブルテレビで防災無線と同様のテロップを流したり、無料で利用できる電話情報サービスを行いたい。

3. 地中音響探知機を備えよ

8月の土砂災害では地元の区長さんや駆けつけた土木事業者さんなどが、一生懸命になって人命の確保、確認にあたって頂いた。人命確認作業に必要な地中音響探知機を杵藤広域消防本部が備えていないため、作業開始まで約3時間を要した。直ちに地中音響探知機を備える必要があるのではないか！

〔坂口北方支所長〕

残念ながら、杵藤消防本部は地中音響探知機を備えておりません。佐賀広域消防本部から借用して検索を行いました。土砂災害では必要な機材であり、今年度、杵藤消防本部において導入する予定です。

4. 土木工事契約は適正金額で

土木工事の契約額が、予定価格の70％くらいで締結されている事案がある。過度の競争は仕事の出来栄えや品質を左右するし、経営や賃金、雇用にも影響を与える。市として行き過ぎた競争を防止する必要があるのではないか！

〔樋渡市長〕

他自治体では入札不調で公共工事が発注できない事例が起きつつあります。契約額が低すぎる点については、上げるようにします。そのうえで、工事の品質、経営、賃金は守っていく必要があると考えています。

5. 老朽化した文化会館と白岩体育館は早急に建替え計画の議論を始めよ

1年前の市議会で、老朽化した文化会館大ホール、白岩体育館は複合型の文化会館として建て替えの考えがあると市長は発言されているが、まずは、これら施設の実態把握が必要だ。このまま運用した場合どのくらい維持費用、改修費がかかるのか！また、新しく建築する場合はどの程度かかるのか！

〔井上教育部理事〕

文化会館と白岩体育館は10年以内に耐用年数を経過します。今後引き続き10年間維持するためには、両施設の維持費と改修費を合わせ約23億5900万円が必要となります。新たに建設する場合は、規模、内容により建築費は異なりますが、県内の建築例として、バレーコート2面とれるアリーナと463席をとることのできるホールをもった施設で14億円です。県外の例としては、バレーボールコートが3面とれるメインアリーナと可動式で910席とれるサブアリーナをもった施設が20億円です。

6. 文化会館小ホールやミーティングホールも方針を明らかに

文化会館の小ホールやミーティングホールもまもなく耐用年数が来る。大ホール同様に今後の対応が求められるが、方針はあるのか！

〔樋渡市長〕

大ホールはなくし小ホールは残すつもりでいたが、空調は一体化しているため、大ホールをなくすならほかの部分も全部除去したほうが、結果的に市民負担はかからないと考えている。しかし、文化会館のエリアは歴史を有しており私や市議会だけでは決められない。市民の検討委員会をつくり、議論をお願いしたいと考えている。市議会にも特別委員会を設けていただき、市民と市議会の両輪での議論をお願いしたい。時間はかかりますがしっかりと議論していきたい。

7. 学校給食で働く方の時給改善を

学校給食では、将来を担う子どもたちの大事な食事を一生懸命つくっていただいている。働く皆さんの時給は市の努力もあり改善してきているが、市が委託料で積算している時給よりまだまだ低い状況である。良いものを末永く作っていただくには、競争入札ではなく、総合評価制度など事業者選定のあり方を変えるべきと考えるが市の考えはどうか！

〔溝上教育部長〕

学校給食は児童・生徒の生命にかかわる業務です。現在の事業者は長い期間にわたり市の業務を引き受けていただき十分な実績を積まれています。今後の契約に当たっては、プロポーザル方式の随意契約に見直す考えです。

8. 国保財政の健全化には一般会計繰入れが必要ではないか

市の国民健康保険財政は、26年度末で7億5千万の累積赤字に達すると見込まれているが、佐賀県で統一される予定の平成30年度には赤字をゼロにしなければならない。3年半しかない。国保税の増は抑え、一般会計からの繰入金を増額すべきではないか！

〔樋渡市長〕

国保財政が危機的状況にあることは承知しており、一般会計からの繰り入れはやらなければなりません。また、国保財政に充当できる国の予算を増やすよう自民党も働きかけをお願いしたい。その上で、国保財政健全化に向けた国保税の改正案を12月議会で市民、議会に提案をしてまいりたい。

吉川は、あなたの声を武雄市政に活かします。お気軽にご相談ください！

武雄市議会議員　よしかわ里己（さとみ）　電話 090-4350-7920